

# 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の 1  
名称 一般社団法人霧島工業クラブ  
代表者氏名 代表理事 下森 康玄

## 1 事業の成果

令和元年度は、主な活動方針を①「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援 ②地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ③例会の充実 ④産学官の緊密なネットワークづくり ⑤組織の充実とし、事業を行った。

① については、9月10日・11日の2日間に亘り、3モンゴル高専と都城高専を Web 会議システム Teams で結び、企業側よりモンゴル高専生に対し会社概要や実習内容等についてセミナーを開催したが、8社・12名の会員企業の方に参加して頂き、企業情報やインターンシッププログラムについてご説明頂いた。

この結果、インターンシップセミナーに参加したモンゴル高専生から各受入企業へ複数の応募があったが、当クラブ会員企業である大淀開発(株)、(株)システムナイン、マトヤ技研工業(株)、(株)メタルテクノ、(株)シンコー、(株)教育情報サービス、(株)日南の計7社に10名が参加した。

なお、令和元年6月に卒業したモンゴル高専生の新卒者の採用が、大淀開発(株)、マトヤ技研工業(株)、(株)メタルテクノ、(株)京都スパーサーの計4社に6名が内定しており、既に大淀開発(株)の2名については就業中であり、3社についても在留資格認定証明書が交付済みであることから、就労 VISA を取得後、来日予定である。

② については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始されているが、当クラブの特別会員として在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行った。

③ については、例会時に5回の特別講演を開催した。  
7月例会では、モノづくりには欠かせないムダ発見とムダ排除、カイゼンと経営を結びつけ、企業を利益体質に変える手法等について、P E C協会主任研究員の三浦聡彦先生に「現場を変え、経営を変えるカイゼン」という演題にてご講演いただいた。

9月度例会では、都城工業高等専門学校物質工学科の准教授の高橋利幸先生に「バイオマスの 5F（食物・繊維・飼料・肥料・燃料）に貢献する微細藻類の簡易な管理と取り扱い法の開発」という演題にてご講演いただいた。本テーマは、当クラブの会員企業の日機装（株）の創業者である故音桂二郎氏が設立された一般社団法人「一樹工業技術奨励会」の2017度の助成金交付の助成テーマに選考されたテーマでもあり、都城工業高等専門学校の研究者のシーズのひとつとしてご紹介させていただいた。

12月度例会では、7月にご講演いただき会員企業の皆様から大きな反響のあった三浦聡彦先生に「利益200%を目指すカイゼンの秘訣」という演題にてトヨタ生産方式を各社で実践されてきた経験と実績をもとに、会員企業様に参考になる知見を提供していただいた。

令和2年1月度例会では、一般社団法人トラストコーチングの川越くみ先生に、「従業員の定着率とモチベーションを上げる方法を考える」と題して、離職率低下のため、そして若手社員のモチベーションを上げるために、官公庁、行政、大手企業、中小企業が、今もっとも必要性を感じていることは何か？各企業でヒアリングされてきた結果と成功の秘訣をコーチングの手法を用いご講演していただいた。

令和2年度2月度例会では、九州経済産業局国際部国際化調整企画官の篠原修一氏に、「高度外国人材の活用で自社の未来を創る！」という演題にて、高度外国人材の現状や国の施策等についてご講演いただいた。高度外国人材とは、日本国内又は海外の大学等を卒業し、企業において研究者やエンジニア、海外進出等を担当する営業などに従事する外国人材を想定しており、モンゴル高専生の卒業生も特定技能・技能実習の在留資格ではなく、エンジニア・技術者としての在留資格となる。

また、令和2年3月5日に、都農町の(株)ミヤチクと霧島工業クラブ会員企業のソーラーフロンティア(株)の工場を見学させていただく予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から延期をせざるを得なくなった。令和2年度にあらためて下記の2社の企業視察研修会を開催の予定である。

(1) (株)ミヤチクは、衛生管理基準の特に厳しい欧州連合（EU）への輸出にも対応する最新鋭の食肉処理加工施設となっており、新工場の大きな特徴としては、牛と豚の処理工程を完全に分離し、冷却機能などを強化したこと、また動物福祉（アニマルウェルフェア）を重視するEUへの輸出に対応するため、係留所内に給餌・飲水や換気設備を造り、1頭あたりのスペースも広くしてストレス軽減へ配慮している点である。

(2) ソーラーフロンティア(株)は、経済性に優れ、環境に優しいCIS 薄膜太陽電池の開発・生産・販売を一貫して手掛けられており、1970年代から太陽電池の技術開発に取り組み、CIS 薄膜太陽電池の研究開発も20年以上にわたり、2007年よりCIS 薄膜太陽電池の商業生産を開始し、「メイド・イン・ジャパン」の品質を世界中のお客様提供している。

- ④ については、都城高専地域連携センターやキャリア支援室と連携し活動を行った。
- ・高専在校生向け就職支援講演会への会員企業からの講師派遣(7/17株式会社ニチワ代表取締役社長 橋本佳隆氏、10/9(株)教育情報サービス代表取締役 荻野次信氏、1/15丸宮建設株式会社代表取締役 河野一治氏)
  - ・合同企業説明会共催(11/20第一体育館で開催、企業38社、学生約2百名参加)
  - ・インターンシップへの協力
  - ・ロボコン支援(10/17内覧会・全国高専ロボコン文部科学大臣賞(アイデア賞)受賞)
  - ・おもしろ科学フェスティバル後援(11/18)
  - ・新規卒業生やUターン者の就職受け入れ

また、宮崎県の6大学・高専(宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、南九州大学、都城工業高等専門学校)が宮崎県と連携するとともに、経済団体等と協働し、学生の地元定着を推進する「みやざきCOC+」事業へ参加し、宮崎大学の地元定着推進室や地域資源創成学部との連携を強化することにより学生の地元定着を推進した。

加えて、令和元年度都城市企業立地推進ネットワーク会議に、当クラブも商工分野の都城市企業立地推進ネットワーク会議委員として参加した。都城市企業立地課より企業立地の現状及び取組み、都城インター工業団地桜木地区の整備や都城市企業地優遇制度等についての説明があり、意見交換の後、懇親会にも出席し交流を深めた。

⑤ については、会員企業数を平成30年度より4社増を目指し55社を目標としたが、実際には6社増3社減の合計54社となり、地域におけるプレゼンスも増し、都城高専への協力支援体制もさらに充実し、産学官活動も活性化した。

## 2 事業内容

### (1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業(定款第4条1)

9月度例会にて、都城工業高等専門学校の研究者のシーズの紹介を実施し、企業のニーズとのマッチングを図った。また、10月19日に、久留米シティプラザにて開催された「九州沖縄地区高専技術振興会サミット」に参加した。本サミットは、九州・沖縄地区の9高専の技術振興会等と情報交換及び親睦交流を図ることにより、各高専・技術振興会等の枠を超えて地域企業間や企業・高専間の連携強化、新しい産業創出、地域産業の活性化、シーズ・ニーズのマッチングの促進、技術者人材の育成などに寄与する機会の提供を目的として開催されたものである。

### (2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業(定款第4条2)

都城圏域産学官金交流会の開催

都城圏域企業、大学、高等学校、高専、専門学校、職業訓練校、宮崎県、都城市の関係者が一堂に会し、意見交換を行った。

実施期日：令和元年8月21日 17:00～21:00

場所：ホテル中山荘

学校と企業との情報交換を実施

（企業関係者が学校のブース（テーブル）をあらかじめ決められた順序で、持ち時間の中で回る方式の第一部と自由に希望の学校のブース（テーブル）を回る方式の2部構成で情報交換）

出席者：参加者 約100名

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

例会時特別講演

① 実施期日：令和元年7月17日

演題：「現場を変え、経営を変えるカイゼン」

講師：PEC協会主任研究員 三浦 聡彦氏

② 実施期日：令和元年9月24日

演題：「バイオマスの5F（食物・繊維・飼料・肥料・燃料）に貢献する微細藻類の簡易な管理と取扱法の開発」

講師：都城工業高等専門学校 准教授 高橋 利幸氏

③ 実施期日：令和元年12月23日

演題：「利益200%を目指すカイゼンの秘訣」

講師：株式会社元気経営 代表 三浦 聡彦氏

④ 実施期日：令和2年1月14日

演題：「従業員の定着率とモチベーションを上げる方法を考える」

講師：一般社団法人トラストコーチング 九州エリアゼネラルマネージャー  
川越 くみ氏

⑤ 実施期日：令和2年2月4日

演題：「高度外国人材の活用で自社の未来を創る！」

講師：九州経済産業局 国際部国際化調整企画官 篠原 修一氏

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

① 高専ロボコン見学会

期日：令和元年10月9日（於：都城高専第一体育館）

内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会

「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈

② 企業視察研修会

期 日：令和2年3月5日開催予定が新型コロナウイルス感染症拡大の防止  
の観点から延期

視察先：1. (株)ミヤチク【都農町】

2. ソーラーフロンティア(株)【国富町】

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

① 宮崎県産学官交流会

本県工業の振興、さらには地域社会の発展のため、県内企業や関係団体が、  
業種、業態等の相違にかかわらず交流を深めることを目的に開催

(一社)宮崎県工業会新会長(現旭化成株式会社延岡支社長)、宮崎県工業  
会専務理事、宮崎県産業振興機構常務理事、宮崎県工業技術センター所長、  
宮崎県商工観光労働部長や企業振興課長等と交流

共催：宮崎県、(一社)宮崎県工業会

後援：宮崎大学、都城高専、(一社)宮崎県商工会議所連合会等9学校団体

参加者：行政、商工、農林業、教育機関、金融、福祉等に携わる方

令和元年6月5日開催(於：宮崎観光ホテル)

② (一社)宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会

(一社)宮崎県工業会の都城市を中心とする県西地区部会の会員企業26社  
との交流・連携強化

参加者：行政、商工、教育機関、金融、福祉等に携わる方

令和元年7月9日開催(於：グリーンホテル)

③ 第26回技術・研究発表交流会

産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技  
術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会(宮崎県産学官連携コ-ディネ-ト講  
演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー)、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果  
報告、ポスター展示、発表(ディスカッション)を開催

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融等に携わる方

令和元年9月17日開催(於：宮崎大学 木花キャンパス)

④ 都城市企業立地推進ネットワーク会議

都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体とな  
った企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関するPR力及び企業  
立地に役立つ情報収集力の強化を図ることを目的とする。企業立地の現状、  
取組、優遇制度の改正等、意見交換

参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方

令和元年11月15日開催(於：ホテル中山荘)

⑤ 都城市産業活性化講演会

都城市と都城市認定農業者等協議会が主催し、当クラブを含む9団体が後援して、都城市の農業者と商工業者が一堂に会し、取り巻く社会情勢の課題と将来への展望を明らかにして、地域のリーダー・経営者として地域とともに発展することを目指して開催

参加者：行政、商工、農林業、金融等に携わる方

令和元年2月5日開催（於：ホテル中山荘）

⑥ 都城工業高等専門学校・就職支援講演会

都城工業高等専門学校ではキャリア教育の一環として、本科低学年生（1～3年生）を対象とし、高専OB・OGをはじめとする企業人を講師に招き、毎年就職支援講演会を開催している。特に、3年生は4年生の夏休みには全員インターンシップに参加することになり、翌年の春には実質的な就職活動が始まる為、なるべく早い時期から、企業研究をスタートすることが重要となっており、当クラブ会員企業より以下の講師を派遣した。

実施期日：令和元年7月17日

演題：「株式会社ニチワの企業紹介とニチワで働く事の魅力について」

講師：株式会社ニチワ 代表取締役社長 橋本佳隆氏

実施期日：令和元年10月9日

演題：「求められる人材像『Innovation to the world』」

講師：(株)教育情報サービス代表取締役 荻野次信氏

実施期日：令和元年1月15日

演題：「地元企業で働く魅力とその意義」

講師：丸宮建設株式会社代表取締役 河野一治氏

⑦ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

都城工業高等専門学校と当クラブが共催し、令和元年度合同企業説明会を開催した。翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として開催。

開催日時：令和元年11月20日14:40～16:10（90分間）

場所：都城工業高等専門学校 都城高専第一体育館

参加企業数：38社

参加学生数：約200名

- ⑧ 都城工業高等専門学校・第6回おもしろ科学フェスティバル  
都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支えるための人材育成に寄与する目的で開催した「第6回おもしろ科学フェスティバル」を後援した。  
開催日時：令和元年11月17日10:00～16:00  
場所：都城工業高等専門学校  
協力：6社2団体（当クラブより(株)サニー・シーリング、(株)ニチワ、マトヤ技研工業(株)、宮崎日機装(株)、メタウォーター(株)の5社）  
来場者数：1,620名
- ⑨ 令和元年度都城高専評議員会  
都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項について審議し、学校長に対し助言を行うことを目的として設置されている評議員会に、毎年、評議員として当クラブ代表理事が参加しているが、共同研究及び学生の就職支援等について意見や要望を出させていただいた。都城工業高等専門学校では、評議員からの意見等を踏まえ、今後の教育研究や学校運営等に活かしています。  
開催日時：1月8日（水）15:00～17:15  
場所：都城高専管理棟会議室（管理棟1階）
- ⑩ 都城工業高等専門学校・国際交流事業への協力  
都城工業高等専門学校では、国際交流事業の一環として、さくらサイエンスプランにてモンゴル高専生やミャンマー大学生を受け入れており、また、ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）と学術交流に関する覚書（MOU）を締結し学生交流及び学術交流を促進しているが、訪日の際は、当クラブ会員企業の視察研修を受け入れている。令和元年度は、(株)九州コガネイ、(株)教育情報サービス、マトヤ技研工業(株)、(株)サニー・シーリング(株)、日南グループ(株)ウイント等で受け入れていただいた。
- ⑪ 宮崎大学地方創生推進事業（COC+）への協力  
宮崎大学が中心となり、宮崎県の6大学・高専（宮崎大学、宮崎県立看護大学、宮崎公立大学、九州保健福祉大学、南九州大学、都城工業高等専門学校）が宮崎県と連携するとともに、経済団体等と協働し推進する「みやざきCOC+」事業へ参加し、ワークカフェ等のイベントに参加した。  
「みやざきCOC+シンポジウム2019」開催  
開催日時：令和元年12月2日14:00～17:45  
場所：ニューウェルシティ宮崎

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条6）  
実施事業なし